



2020年1月23日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 片野坂 真哉
(コード番号 9202 東証第1部)
問合せ先 グループ総務部長 坂爪 浩
(TEL . 03-6735-1001)

2020年度 ANA グループ国際線航空輸送事業計画に関するお知らせ

当社 100%子会社の全日本空輸株式会社において、2020年度ANAグループ国際線航空輸送事業計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2020 年度 ANAグループ国際線航空輸送事業計画を策定

ANA グループは、2020 年度の国際線航空輸送事業計画を策定しました。

2020 年は待望の羽田空港国際線発着枠拡大の年であり、2020 年サマーダイヤから 14 路線を新規開設ならびに増便します。日本のエアラインとして初めて就航する深圳、イスタンブール、ストックホルムに加え、ミラノ、モスクワを含めて 5 都市へ ANA として新たに乗り入れます。あわせて、ベトナム路線再編に伴い、羽田=ホーチミンシティ線も新規開設し、羽田空港からの路線ネットワークがますます拡充します^{※1}。

新たに多くの国や都市とつながることで、日本のお客様にとって選択肢が広がる他、さらなる訪日需要の高まりが期待できるなど、ビジネスチャンスを生み出すきっかけにもなります。また、羽田空港の豊富な国内線ネットワークと接続することで、国内各地と海外間を移動されるお客様の利便性がさらに高まります。

昨年より、ボーイング 777-300ER 型機の機内を一新し、プライベート空間に加え、これまでにない広さと寝心地を実現したドア付の個室型ワイドシート「THE Room」は大変ご好評をいただいています^{※2}。2020 年度以降も運航便数を順次拡大し、最上級のくつろぎ空間をご提供してまいります。

ANA はこれまで遂行してきた羽田空港と成田空港それぞれの機能を最大限に活用したデュアルハブ戦略を推進し、両空港において、日本のお客様をはじめ、訪日外国人や、アジアと北米間を往来されるお客様のお乗り継ぎなど、さまざまな需要にお応えしていくとともに、日本の国際競争力強化や地方創生に貢献していきます。

* これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としています。

* 2020 年度のANAグループ国内線航空輸送事業計画は ANA NEWS 第 19-103 号(2020 年 1 月 22 日付け)をご参照ください。

2020 年サマーダイヤより、羽田空港から新規開設・増便するネットワーク



2020 年度における国際線旅客便、貨物専用便のポイントは以下のとおりです。

【国際線旅客便】

- 今春からの羽田空港国際線発着枠拡大に伴い、新規開設ならびに増便する 14 路線のうち、ANA として新たに 5 都市へ乗り入れます。あわせて、ベトナム路線再編に伴い、羽田=ホーチミンシティ線を新規開設し、羽田空港からの路線ネットワークがますます拡充します。
- そして、今年 3 月 29 日(日)より、国際線対応の施設が羽田空港第 2 旅客ターミナルビルで供用を開始することに伴い、日本を代表する世界的な建築家・隈研吾氏監修の下、ANA の国際線ラウンジを新設します。首都圏を中心としたビジネス需要に加え、豊富な国内線ネットワークと接続し、国内各地と海外間を移動されるお客様の利便性をさらに高めていきます。
- さらに、将来の持続的成長に向けた新たな事業拡充の中心となる成田空港においては、今年 3 月 16 日(月)に新規開設する成田=ウラジオストク線を、同年 3 月 29 日(日)より週 3 往復へ増便することに加え、7 月 1 日(水)より^{※3}、エアバス A380 型機「FLYING HONU」の運航を週 14 往復へ拡大します。これにより、成田=ホノルル線はすべて「FLYING HONU」での運航となり^{※4}、ボーイング 787 型機にて運航する羽田=ホノルル線と合わせて、旺盛な日本=ハワイ間の需要にお応えしていきます。
- また、今年 3 月 29 日(日)に、成田空港において ANA の国際線ラウンジ 3 カ所目となる「ANA LOUNGE」を第 2 サテライトに新設します^{※5}。

ANA 広報部 03-6735-1111 成田 0476-31-6007 羽田 03-5757-5548 伊丹 06-6856-0270 関西 072-456-7890

【貨物専用便(フレイター)】

- 航空貨物需要は、中長期的には拡大が見込まれるものの、短期的には米中貿易摩擦の長期化などによる停滞感が見られる為、フレイターは需給適合を図り、着実に収益性を改善していきます。
- 一方、拡大するANAの旅客便ネットワークに加え、他社運航便とのコードシェアなどを柔軟に活用しながら、フレイターとの相乗効果を高めることで着実に需要を取り込んでいきます。
- 特に、那覇空港を国内およびアジアの主要都市との重要な流通拠点として位置付けている「沖縄貨物ハブネットワーク」については、フレイターに加え、他社旅客便の貨物スペースをコードシェアなどで活用し、航空貨物のネットワークを維持・向上させていきます。

※1:ANA NEWS 第 19-081 号(2019 年 11 月 19 日付け)をご参照ください。

※2:ANA NEWS 第 19-033 号(2019 年 7 月 11 日付け)、第 19-071 号(2019 年 10 月 30 日付け)をご参照ください。

※3:機材・運航状況等により、時期が変更となる場合があります。

※4:サンセットオレンジの機体は、週 14 往復の運航となる 7 月 1 日よりも前に運航を開始する可能性があります。

※5:ANA NEWS 第 19-100 号(2020 年 1 月 20 日付け)をご参照ください。

1. 国際線旅客便

(1) 新規開設・増便

路線	実施時期	現行/変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
羽田=サンフランシスコ	3月29日～	-	-	B777-300ER	3往復/週	火・金・日 運航 (現地発は翌日)
	5月25日～	B777-300ER	3往復/週	B777-300ER	7往復/週	
羽田=ワシントン	3月29日～	-	-	B777-300ER	7往復/週	
羽田=ヒューストン	3月29日～	-	-	B777-300ER	7往復/週	
羽田=サンノゼ	3月29日～	-	-	B787-8	7往復/週	
羽田=シアトル	3月29日～	-	-	B787-8	7往復/週	
羽田=ロサンゼルス	3月29日～	B777-300ER	7往復/週	B777-300ER	14往復/週	
羽田=モスクワ	7月1日～	-	-	B767-300ER	7往復/週	
羽田=ストックホルム	6月6日～	-	-	B787-8	3往復/週	月・木・土 運航
	7月20日～	B787-8	3往復/週	B787-8	7往復/週	
羽田=ミラノ	4月20日～	-	-	B787-9	3往復/週	月・木・土 運航
	7月10日～	B787-9	3往復/週	B787-9	7往復/週	
羽田=イスタンブール	7月6日～	-	-	B787-8	7往復/週	
羽田=デリー	3月29日～	-	-	B787-9	7往復/週	
羽田=シドニー	3月29日～	B787-9	7往復/週	B787-9	14往復/週	
羽田=青島	3月29日～	-	-	B787-8	7往復/週	
羽田=深圳	3月29日～	-	-	B787-8	7往復/週	
羽田=ホーチミンシティ	3月29日～	-	-	B787-9	7往復/週	
成田=ハノイ	3月29日～	-	-	B787-8	7往復/週	
成田=ウラジオストク	3月29日～	A320neo	2往復/週	A320neo	3往復/週	月・水・金 運航
成田=成都	2月18日～	B767-300ER	4往復/週	B767-300ER	7往復/週	※1

※1:成田=成都線は、2019年ウインターダイヤ期中の2月18日(火)から週7往復へ増便します。

(2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	備考
羽田=ハノイ	3月29日～	7往復/週	-	
羽田=香港	3月29日～	14往復/週	7往復/週	NH821/822を運休
成田=ワシントン	3月29日～	7往復/週	-	
成田=ヒューストン	3月29日～	7往復/週	-	
成田=サンノゼ	3月29日～	7往復/週	-	
成田=シアトル	3月29日～	7往復/週	-	
成田=ロサンゼルス	3月29日～	14往復/週	7往復/週	NH176/175を運休
成田=デリー	3月29日～	7往復/週	-	
成田=バンコク	5月16日～	14往復/週	7往復/週	NH807/808を運休
成田=シンガポール	3月29日～4月23日、 6月7日～	14往復/週	7往復/週	NH/NQ803 NH/NQ804を運休
成田=ホーチミンシティ	3月29日～	14往復/週	7往復/週	NH831/832を運休
成田=プノンペン	3月29日～6月30日	7往復/週	3往復/週 ※1	月・木・土 運航
成田=ジャカルタ	7月1日～10月24日	7往復/週	3往復/週	金・土・日 運航 (現地発は翌日)
成田=クアラルンプール	7月1日～8月31日	7往復/週	3往復/週	月・火・水 運航 (現地発は翌日)

※1: 月・木・土の運航に加えて3月29・31日、4月1・3・5・12・14・15・17・19・28・29日、5月1・3・5・6・8日は運航します。

(3) 機材変更

路線	実施時期	現行/変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田=パース	3月29日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
成田=バンコク	3月29日～	B787-10 B787-9	14往復/週	B777-300ER B787-9	14往復/週	NH805/806に B777-300ER投入
成田=シンガポール	3月29日～	B777-300ER B787-9	14往復/週	B787-10	7往復/週	NH801/802
成田=ホーチミンシティ	9月1日～	B767-300ER	7往復/週	B787-9	7往復/週	
成田=ムンバイ	9月1日～	B787-9	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
成田=チェンナイ	7月1日～	B787-8	3往復/週	B767-300ER	3往復/週	
成田=ジャカルタ	7月1日～	B787-8	7往復/週	B787-9	3往復/週	金・土・日 運航 (現地発は翌日)
	8月1日～	B787-9	3往復/週	B787-8	3往復/週	
成田=香港	3月29日～	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
成田=プノンペン	9月1日～	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
成田=北京	3月29日～	A320neo	7往復/週	B787-8	7往復/週	
	5月1日～ 5月31日	B787-8	7往復/週	B767-300ER	7往復/週	
成田=上海(浦東)	3月29日～	B787-9	7往復/週	B787-8	7往復/週	NH919/920
	8月1日～ 8月31日	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	NH959/960
	9月1日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	NH921/922
成田=青島	3月29日～ 4月30日、 6月1日～ 6月30日、 9月1日～	B787-8	7往復/週	A320neo	7往復/週	

路線	実施時期	現行/変更前		変更後		備考
		機材	週間便数	機材	週間便数	
成田=広州	7月1日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	
成田=ホノルル	7月1日～	A380	10往復/週	A380	14往復/週	月・水・木・土 運航
		B777-300ER	4往復/週	-	-	
関西=香港	10月1日～	A320neo	7往復/週	B787-8	7往復/週	
関西=上海(浦東)	3月29日～	B767-300ER	14往復/週	B787-8	14往復/週	
羽田=ミュンヘン	7月1日～	B787-9	7往復/週	B777-300ER	7往復/週	
羽田=ジャカルタ	7月1日～	B787-9 B787-8	14往復/週	B787-9	14往復/週	
羽田=香港	3月29日～	B787-9 B787-8	14往復/週	B787-8	7往復/週	NH859/860に B787-8投入
	6月1日～	B787-8	7往復/週	B777-300ER	7往復/週	
	7月1日～	B777-300ER	7往復/週	B787-9	7往復/週	
羽田=台北(松山)	7月1日～	B787-8	14往復/週	B787-8 B767-300ER	14往復/週	NH853/854に B767-300ER投入
羽田=北京	6月1日～	B777-300ER B787-8	14往復/週	B787-8	14往復/週	NH961/962に B787-8投入
	7月1日～	B787-8	14往復/週	B787-9 B787-8	14往復/週	NH961/962に B787-9投入
	9月1日～	B787-9 B787-8	14往復/週	B777-300ER B787-8	14往復/週	NH961/962に B777-300ER投入
羽田=上海(虹橋)	3月29日～	B787-8	7往復/週	B787-9	7往復/週	
羽田=上海(浦東)	3月29日～	B787-8	14往復/週	B787-8 B767-300ER	14往復/週	NH967/968に B767-300ER投入
羽田=広州	7月1日～	B767-300ER	7往復/週	B787-8	7往復/週	

2. 貨物専用便(フレイター)

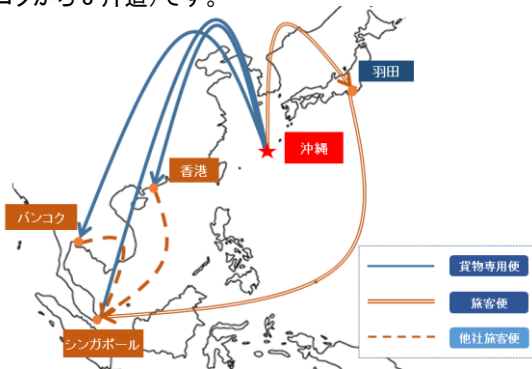
(1) 増便・再開

路線	実施時期	現行	変更後	機材	備考
シンガポール-成田	3月29日～	-	2片道/週	B767F	

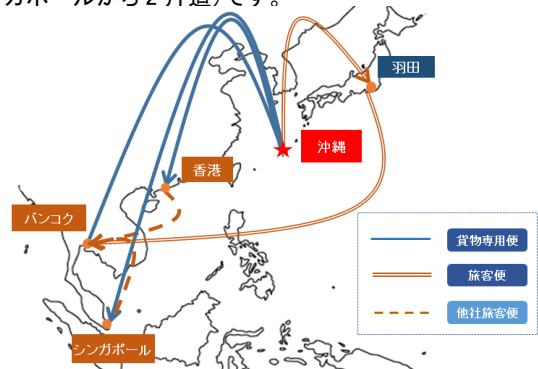
(2) 減便・運休

路線	実施時期	現行	変更後	機材	備考
成田=シカゴ	3月29日～	3往復/週	-	B777F	
成田-天津	3月29日～	3片道/週	-	B767F	
成田-大連	3月29日～	4片道/週	-	B767F	
成田-香港	3月29日～	2片道/週	1片道/週	B767F	
沖縄-シンガポール	3月29日～	5片道/週	2片道/週	B767F	※1
沖縄-バンコク	3月29日～	5片道/週	3片道/週	B767F	※2
関西=沖縄	3月29日～	5往復/週	-	B767F	※3
関西-上海	3月29日～	5片道/週	-	B767F	
シンガポール-香港	3月29日～	5片道/週	-	B767F	
香港-沖縄	3月29日～	5片道/週	-	B767F	
バンコク-成田	3月29日～	6片道/週	4片道/週	B767F	
上海-成田	3月29日～	11片道/週	6片道/週	B767F/B777F	
天津-成田	3月29日～	3片道/週	-	B767F	
大連-関西	3月29日～	4片道/週	-	B767F	
香港-関西	3月29日～	1片道/週	-	B767F	

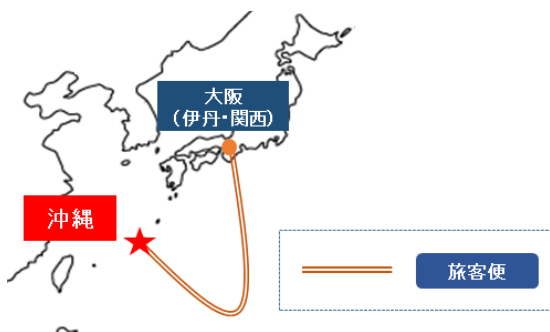
※1: 沖縄=シンガポールが運航しない日は、羽田から旅客便、香港・バンコクから他社旅客便の貨物スペースを活用し輸送します。9片道/週(羽田から3片道、香港から3片道、バンコクから3片道)です。



※2: 沖縄=バンコクが運航しない日は、羽田から旅客便、香港・シンガポールから他社旅客便の貨物スペースを活用し輸送します。6片道/週(羽田から2片道、香港から2片道、シンガポールから2片道)です。



※3: 大阪(伊丹・関西)=沖縄の区間は、旅客便の貨物スペースを活用し輸送します。42往復/週です。



沖縄貨物ハブのネットワーク

